NEWS　RELEASE

国土交通省

国土交通省 近畿運輸局

問い合わせ先
（所属）　交通政策部環境・物流課
（担当）　山田、冨田
（電話）　06-6949-6410

令和8年11月16日

交通に関する環境保全への優れた取組を表彰します！！

～令和８年度近畿運輸局交通関係環境保全優良事業者等表彰～

近畿運輸局では、CO_2排出量の削減をはじめ、交通に関する環境保全への取り組みの成果が顕著であると認められた事業者等に対して、交通関係環境保全優良事業者等表彰を行っています。
今年度は、下記のとおり近畿運輸局長より表彰することとなりましたのでお知らせします。

＜表彰式＞　日時　：　令和８年１１月２５日（水）１４時３０分～
場所　：　大阪合同庁舎第４号館　１３階
近畿運輸局　大会議室
（大阪市中央区大手前４丁目１番７６号）

※取材を希望される方は、別紙**「取材申込書」により１１月２０日（金）１２時までにメールにて**ご連絡ください。

阪急電鉄株式会社 阪神電気鉄道株式会社	西日本初　全線カーボンニュートラル運行の実現
コクヨサプライロジスティクス株式会社 プレミアムウォーター株式会社 株式会社エスファイブ	異業種間における荷姿・曜日特性を踏まえた共同配送の実施

※取組内容の詳細は別添を参照してください。

配　布　先：青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ
陸運記者会（トラック、ハイタク）

別紙

【留意事項】
・腕章等は見える位置につけて下さい。
　腕章等が確認できない場合、入室をお断りします。
・公務等の都合により、開始時間や表彰者が変更となる場合があります。
・写真撮影にあたっては、進行の妨げにならないようにお願いします。
・取材は最低限の人数でお願いします。
・体調不良のある方は取材をご遠慮下さい。
・職員の指示に従っていただけない場合や、受賞者等への迷惑となる行為があった場合、
　退室いただくとともに、今後の取材をお断りする場合があります。

「近畿運輸局交通関係環境保全優良事業者等表彰式」

取　材　申　込　書

【申込の締め切り：１１月２０日（金）１２時必着】

返信先：近畿運輸局交通政策部環境・物流課　あて

メール：kkt-ks-kanbutsu★ki.mlit.go.jp

ＦＡＸ：０６－６９４９－６１６９

※メールで申し込みの場合、受付した旨を返信いたします。
　メールで送付の際は、メールアドレスの「★」を「@」（半角）に変えて送付願います。

※ＦＡＸで送付の際は、送り状は不要ですので本紙のみをそのままＦＡＸして下さい。
　お手数ではございますが、ＦＡＸ送信後は受信確認のため下記の【確認先】までご連絡下さい。

　なお、表彰式前日午前中までに返信等がない場合は、下記の【確認先】までお問い合わせください。

（ふりがな） 氏　名	
所属（会社名）	
連絡先（ＴＥＬ）	
連絡先（メールアドレス）	

【確認先】
近畿運輸局　交通政策部　環境・物流課　　山田・冨田　　ＴＥＬ：０６－６９４９－６４１０

阪急電鉄株式会社・阪神電気鉄道株式会社

鉄道事業で使用する電力を実質的に再生可能エネルギー由来の電力に置き換えたことで、**西日本の鉄道会社としては初めてCO_2排出量実質ゼロとなる全線カーボンニュートラル運行を実現**。
また、省エネ車両の導入や照明のLED化など省エネの取組に加え、利用者などに対する環境意識の醸成や公共交通利用への行動変容の取組とあわせて、地域の脱炭素化の推進並びに持続可能な脱炭素社会の実現に貢献。

全線カーボンニュートラル運行の実現・記念ラッピング列車の運行

西日本の鉄道事業者として初めて 全線カーボンニュートラル運行※を実現

CO_2排出削減量 **約20万トン**

※関西電力の再エネECOプランの活用のほか、PPA等の取組により、鉄道事業（全線の列車運行及び駅施設等）で使用する全ての電力を実質的に再生可能エネルギー由来の電力に置き換え



阪急阪神全線カーボンニュートラル運行記念列車

全線カーボンニュートラル運行を記念したラッピング列車による見える化・PR



沿線ステークホルダーとの更なる脱炭素化の取組

◇尼崎ゼロカーボンベースボールパーク

阪神電気鉄道と尼崎市が共同整備した施設。施設内のSGLスタジアムは太陽光パネル等により電力を100%確保し、また大物駅からの導線ではエコ啓発を行うなど、エリア全体で脱炭素化に取り組んでいる。



◇阪急ソラエル

沿線住民などによる応援グッズ購入の売上を駅舎屋根上への太陽光パネル設置費用に活用。




◇阪急エネトス

卒FITの太陽光パネルを保有する家庭の太陽光発電による余剰電力を阪急のカーボンニュートラルに活用。



その他の取組

省エネ車両※の導入	約7割更新済（R8.3末現在）
駅照明のLED化	約8割更新済（R8.3末現在）
駅・車庫等の屋根上への太陽光発電の設置	計7駅・1車庫へ設置済（R8.3末現在）
コーポレートPPAによる再エネ電源の創出	総契約量40MW（R8.5現在）

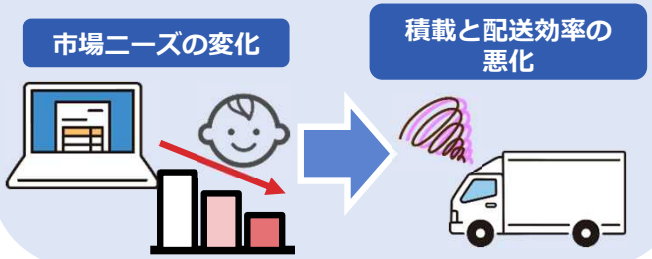
※従来車両に比べて最大約60%のCO_2削減

コクヨサプライロジスティクス株式会社
プレミアムウォーター株式会社・株式会社エスファイブ

オフィス用品などBtoB向け配送を担当するコクヨサプライロジスティクス株式会社は、少子化やペーパーレス化の流れに伴い市場ニーズが変化する中、積載効率の最適化および配送の効率化が不可欠であった。一方、家庭向け宅配水などBtoC向け配送を担当するプレミアムウォーター株式会社は、配送が週末に集中し、平日の配送リソースが最大限に活用されていない課題を抱えていた。こうした中、物流コンサルティングを行っている株式会社エスファイブを含めた3社が連携し、**それぞれの荷姿や曜日の特性を踏まえた共同配送を実施することで、トラック台数及びCO_2排出量を削減**し、トラックドライバー不足解消と地球温暖化対策に大きな成果を上げている。

コクヨサプライロジスティクス

オフィス用品などBtoB向け配送を担当。少子化やペーパーレス化の流れに伴い市場ニーズが変化する中、積載及び配送の効率化が課題となっていた



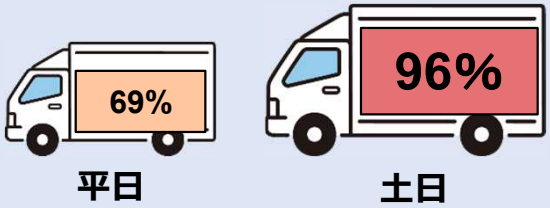
エスファイブ

両社の共通の取引先。
物流コンサルティングの知見を活かし、今回の異業種間での共同配送のスキームをコーディネート

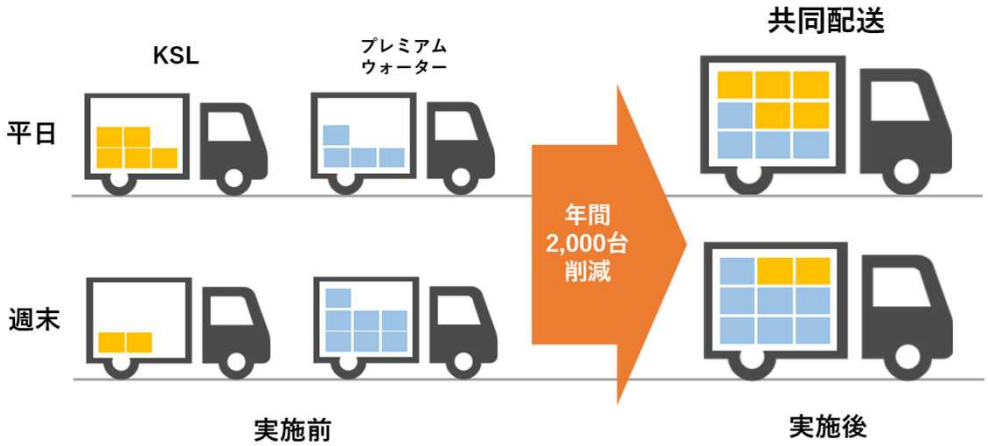


プレミアムウォーター

家庭向け天然水などBtoC向けの配送を提供。配送が週末に集中するため、平日の配送リソース（トラック・人員）の有効活用が課題となっていた。



取り組み内容：それぞれの荷姿特性と曜日特性を踏まえた大阪市内の共同配送を実施（令和6年8月より）



効果：持続可能な物流への貢献

曜日波動の平準化と物量効率化による削減効果

トラック使用台数削減	CO2排出量削減
2,000台/年	5.8ｔ/年

ドライバー不足解消に寄与